

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
村田 トオル			
木2、木4			
添付ファイル			

科目の概要	小学校において体育の授業をどのように設計し、展開していけばいいのか。この科目では体育科教育の目標や内容を学び、これを実際の授業事例と照らし合わせ追究しながら、将来、体育授業に携わる教員として必要となる基礎的実践力を培っていく。
授業の内容	<p>1回目 体育科の目標について 単に体を育てるということではないことを学ぶ</p> <p>2回目 低学年で育てたい感覚と技能について 運動遊びを通じて身体感覚に気づく</p> <p>3回目 からだづくり運動の実践 器具を使わない授業運営を学ぶ</p> <p>4回目 器械体操の指導法 マット、跳び箱の指導法と補助について学ぶ</p> <p>5回目 器械体操の指導法 鉄棒、平均台 の指導法と補助について学ぶ</p> <p>6回目 ボール運動（ネット型）の実技 ソフトバレーボールのゲーム進行について学ぶ</p> <p>7回目 ボール運動（ネット型）の指導法 ソフトバレーボールの指導法について学ぶ</p> <p>8回目 ボール運動（ゴール型）の実技 ポートボールのゲーム進行について学ぶ</p> <p>9回目 ボール運動（ゴール型）の指導法 ポートボールの指導法について学ぶ</p> <p>10回目 陸上運動の実技 リレーを教材として、基本動作を学ぶ</p> <p>11回目 陸上運動の指導法 小学生に適した走力向上の指導法について学ぶ</p> <p>12回目 単元計画について 発育発達や技能の習得順序に応じた立案の方法を学ぶ</p> <p>13回目 指導案の作成について 模擬授業に向けて作成する</p> <p>14回目 模擬授業（前半） グループごとに実施する</p> <p>15回目 模擬授業（後半）とまとめ グループごとに実施し、ディスカッションを行う</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校学習指導要領解説（体育編）に示される各学年の目標および各運動領域の内容ならびに指導計画の作成と内容の取扱いについて理解する。</li> <li>2. 指導案づくりを通して、体育科固有の指導方法および個人に応じた指導のあり方を理解する。</li> <li>3. 模擬授業を通して、体育科における個人の発達や特性に応じた指導方法を身につける。</li> </ol>
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カテゴリーは講義であるが、科目の特性上、学習指導要領にしたがった実技も行う。</li> <li>・13～15回目での模擬授業に関しては、グループディスカッションを十分に行ったうえで実践に臨む。</li> <li>・各領域において、必要に応じてタブレット端末等で理想のフォームを確認する。</li> </ul>
成績評価の方法	授業への参加態度30% 定期試験50% 提出物（指導案、レポート）20%
教科書・テキスト	小学校学習指導要領解説体育編：文部科学省2017年
参考書	必要に応じて適宜プリントを配布する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校での体育授業の必要性について、自分の考えをまとめておくこと。</li> <li>2. 中学年までの各種実技について、見本ができるようにしておくこと。</li> <li>3. 保健領域における健康な生活について自らが実践しておくこと。</li> </ol>
履修上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回は教室で行うので、掲示板で確認すること。</li> <li>・2回目以降はリズム室で行うので、運動できる服装、シューズで履修すること。</li> </ul>

オフィスアワー	月～木の昼休み
担当教員への連絡方法	tmurata@osaka-aoyama.ac.jp
その他	